

CENTENARY

2010. 4. 9

第 49 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

第65回

入学式

3月も終りが近付くと急に暖かくなり、この分では、校庭の桜も入学式を待たずに散ってしまうのかと気を揉んでいましたが、天の神にそんな心配が届いたのか、4月になると打って変わって花冷えとなつて、桜は見事な満開のまま新入生を迎えてくれました。



満開の桜に包まれて……

式は肅々と進んで、65回生360名の入学は無事許可されました。



生徒代表による宣誓

式終了後、1年担任団が主任を先頭に壇上に進み、生徒や保護者に紹介されました。



担任紹介

今年の第1学年団は、本校の中では担任の平均年齢が大変低い学年です。もともと新入生には

そうは見えていないかも知れませんが……。若い力で加古西をグイグイ引っ張って行ってくれることを期待しています。

離任式・対面式

入学式の翌日、異動される先生方を送る離任式が行われました。



笑顔で去られる増尾前校長先生

最初に、本校だけでなく幾多の高校で大きな功績を残された増尾前校長先生を送る会が催され、生徒の拍手の中、花束を胸に先生は笑顔で体育館を後にされました。

その後、栄転される橋本教頭先生他10名の先生方も、皆笑顔で体育館を出て行かれました。



去られる先生方

離任される方々が異口同音に、本校との別れを惜しむ言葉を口にされたことが強く印象に残っています。離任式の後は、新入生が上級生に紹介される対面式です。

初々しいこの1年生が来年は頼もしくもしくも新入生を迎えることになり1年間新1年生代表挨拶の成長に期待しています。



新1年生代表挨拶

ちょっと一言 4月1日に本校校長として着任いたしました柗田一文(くにぎたかずふみ)です。前任は淡路三原高校で、90年の歴史を持っていた三原高校と創立以来34年を経ていた志知高校との発展的統合により3年前に開設された学校です。県内各地に勤務してきましたが、加印地区の学校には16年前の平成6年まで11年間勤務した経験があります。私は高校教育の役割は、すぐ「大人」になる若者に対し、「子ども」との決別を求め自立への自覚を促すにあると考えています。どうぞよろしくお願いいたします。